

人から人へ極意の伝達をねらいとする「極意」 伝承道場

# 道場拝見！

小林 智子先生【高山中学校】 2023.10.13

学校の要 保健室！！

子どものために獅子奮迅の模索は続く！！



小林智子先生の道場が行われ、5名の養護の先生方が保健室経営について学びました。子どもへの実際の対応や保健室経営の具体について学び、小林先生からの助言に、耳を傾けたりメモを取ったりしていました。受講者は自分が使用している来室者カードや保健だよりを持参して情報交換をしたりと学び多き研修の場でした。



指導者の小林先生は給食前後の保健室を公開し、保健室での生徒への対応を見せてくれました。延べ30人以上の生徒が保健室に来ましたが、一人ひとりを大切に、状況を的確に判断し、対応の順番を決め、生徒の行動を促すような声かけを行っていました。また、生徒が実感として分かるように、咳やくしゃみの飛ぶ距離や、視力について学ぶための教材等を見せてくれました。教材づくりのために、使えるものがないかアンテナを高くしているそうです。

その後、緊急対応の対応表（アクションカード）、時系列での記録用紙作成の実際を示していただいたり、フィジカルアセスメントの実際ということで、体温の測らせ方、聴診器をどんなとき使うか、触診の意義、痛みをどう言葉で表現させるかなど、受講者の取組の具体を聞きながらそれぞれに助言をしていました。

「養護教諭になろうと思ったきっかけは？」とか「どんな保健室にしたいですか？」など受講者の潜在意識をくすぐるような問いもありました。（ウ〜ン参考になりました。）



咳やくしゃみの飛ぶ距離を見える化

目の筋肉を示す教材

触診の意義



自分の頼りにしている本を紹介し合う受講者の皆さん



保健の先生は多くの場合各学校に一人、子どもの安定と安全、健康を受け持つということは相当プレッシャーがあると感じました。それが故にこういう研修は大事だと痛感しました。感謝！小林先生、頑張り！受講者。